

色はココロのメッセージ

大人は日々の不満やストレスを、友人とのおしゃべりや買い物などで発散することが出来ます。しかし、子供たちは満たされない感情を上手に言葉で表現することが出来ないことが多く、話すよりも遊びや絵で感情を表現します。そして、選んだ色にはその時の気持ちが表われます。色を通じて子供の気持ちに耳を傾けて見ましょう。さあ、素敵な「カラーコミュニケーション」の始まりです。

診断のポイント

まず、合体させたハート全体の印象を感じ取りましょう。元気ハツラツな感じ？それともちょっぴり寂しそうな感じですか？ママのぬり絵と子供のぬり絵は同じ印象でしょうか？全体の印象は二人の関係性を表わすものなので、同じであれば似たもの同士。二人はお互いを同じ感覚でとらえている可能性が強いですね。大きく違っていたら、お互いの個性について話し合ってみましょう。お互いの個性を理解することは、とても大切なコミュニケーションです。違うからこそ、素敵な関係が見えてくるかもしれません。「ママのどういう所が好きなのかしら？」「わたし（ぼく）のどんなところが好き？」お互いに、そして自分自身のココロに問いかけながら、二人で描いた『ハート型のアート』を楽しんでください。

色のキーワード

ピンクの気持ち 愛したい 愛されたい 優しく包んで欲しい（優しい気持ち）
赤の気持ち やる気マンマン 動いていたい（積極的な気持ち）
橙の気持ち 元気ハツラツ 人と一緒に楽しみたい（明るい気持ち）
黄の気持ち 自由が大好き でも一人じゃ寂しい チャレンジ精神いっぱい（好奇心と依存心が同居した気持ち）
緑の気持ち 今やっていることを続けていたい 自然体でいたい 休憩したい（落ち着いていたい気持ち）
青の気持ち ちょっと我慢しておりこうさんでいたい 理性的でいたい（静かな気持ち）
紫の気持ち 主張したい 思い通りにしたい 個性的でいたい（こだわる気持ち）

以上、基本的な色のキーワードを簡単にまとめました。これらはあくまで一般的なものであり、特に大人になると色に対する個人的感情が影響しますので、深くココロと向き合うにはカウンセリングが不可欠です。